

九州農政局

(統計系)

業務説明会

2024年 6月28日



SAFF

データの力で。
農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

わたしたち農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省統計部の役割

- 農林水産省統計部では、農林水産政策の基礎資料を作成しています。

○ 農林水産統計の役割

農政の推進

より効果の高い政策を行うためには、農林水産業を取り巻く状況を正確に捉えるデータが必要です。

1. 国の財政支出の算出根拠
2. 需要安定対策等の施策の発動基準
3. 政策目標の設定・評価

学術研究・教育など

公表された調査結果は、日本の農林水産業を取り巻く情勢を捉えるための“ものさし”となっており、統計部で作成する統計は、広く活用されています。

1. 国民が農林水産業を捉える指標
2. 学術的な研究データ

農政を取り巻く状況の変化

国
内

	1990年	2020年	2050年
人口	1億2,361万人	1億2,586万人	▲20% 1億190万人
高齢化率 (65歳以上の割合)	12.1%	28.7%	
飲食料の マーケット規模	72兆円	84兆円 (2015年)	
農業総産出額	11.5兆円	8.9兆円	
生産農業所得	4.8兆円	3.3兆円	
基幹的農業従事者数	293万人	136万人	
耕地面積	524万ha	437万ha	

人口減少・高齢化に伴い、
国内の食市場規模は縮小の可能性

世
界

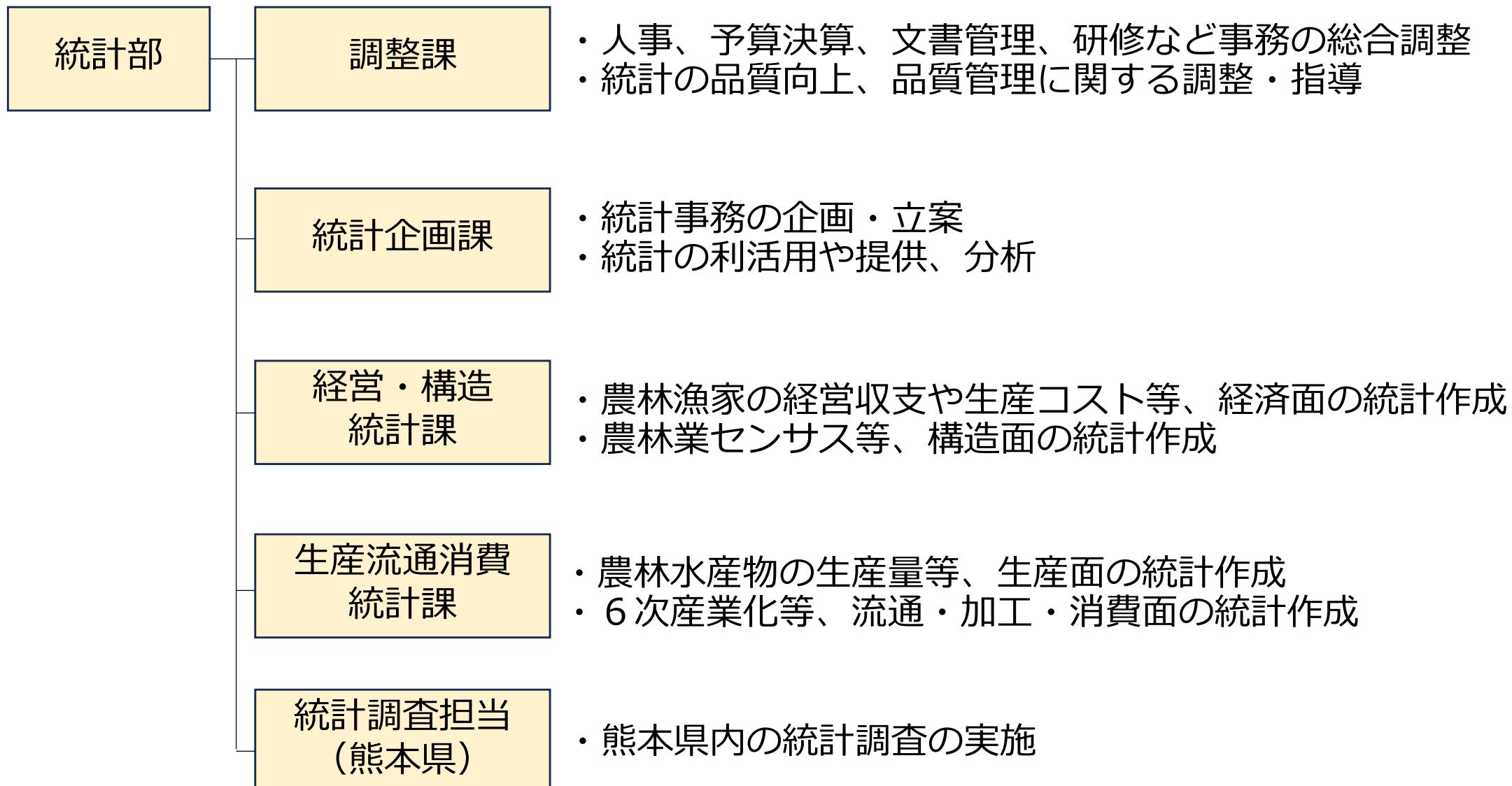
人口	53億人	78億人 (2015年)	+ 30% 98億人
飲食料の マーケット規模 (主要国)	—	890兆円 (2015年) → 1,360兆円 (2030年)	世界の農産物マーケットは拡大の可能性
農産物貿易額	4,400億ドル (約42兆円) (1995年)	1兆5,000億ドル (約166兆円) (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農林水産業GDP（2019年）世界8位 日本の農産物輸出額（2019年）世界50位

身近な農林水産統計

- 普段目にする情報にも、農林水産統計が使われています。
- 秋頃のニュースで・・・
 - ・今年の米の作況指数は101となりました。
(水稻収穫量調査の結果から)
- テレビの旅番組で・・・
 - ・熊本県は、トマトの収穫量全国1位です。
(野菜収穫量調査の結果から)
- 教科書で・・・
 - ・日本全国で農業生産で生み出される農業産出額は約9億円（米は1.4億円）です。
(生産農業所得統計の結果から)

これらの結果は、農林水産統計から引用された結果です。

九州農政局 統計部の体制



※ 統計調査担当は、熊本県のほか、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県にも配置

農林水産統計の作成

- 統計調査は、①企画→②設計→③調査実施・取りまとめ→④公表→⑤利活用のサイクルで実施されています。
- 地方農政局は主に、③調査実施・取りまとめを担っています。

- ✓ 調査対象
- ✓ 調査票
- ✓ 時期
- ✓ 標本数
- ✓ 調査方法
- ✓ 点検・評価
- ✓ 予算

調査の目的に応じて効率性を考えながら、調査対象、調査事項（調査票）、調査時期、標本数、調査方法など設計を行い、統計品質の点検・評価、必要な予算の確保、統計法を所管する総務省への申請を行います。

■ 政策部局

省内のユーザーである政策立案部局からニーズを把握し、調査を企画します。

農政の推進

学術研究・教育
など

■ 政策部局

■ 国民

公表された調査結果は、日本の農林水産業を取り巻く情勢を捉えるための“ものさし”となっており、政策決定のみならず、国民が農林水産業の「今」を知る指標として、また、学術的な研究にも使われています。

①企画

②設計

③調査実施 ・ 取りまとめ

④公表

⑤利活用

■ 総務省

■ 調査員

調査票を使用し、面接、郵送などにより調査を行います。一部調査では一般の方を調査員として雇用し、調査を実施しています。

調査票の審査が終わった後、一定の方法に基づいて迅速かつ正確に集計作業を実施し、総数や平均値などの調査結果を審査して取りまとめます。

- ✓ 面接、郵送等
- ✓ 審査・集計

取りまとめた調査結果は、ホームページや各種刊行物などで公表され、新聞などメディアに掲載されるなど広く活用されます。

- ✓ 広報、普及
- ✓ 速報と確報

（例）水稻收穫量調査

お米の豊凶を予測する – 水稻収穫量調査 –

全国で約1万箇所のほ場を実測調査し、水稻の作柄や収穫量を明らかにしています。

①企画

効率的で必要性のある調査が実施できるように、適宜調査事項や調査手法の改善を企画します。

本省において、都道府県別の調査結果が目標とする調査精度を達成できるように、調査は場数を算出します。
(全国で約1万は場)

② 設計

地方組織の職員（調査員）が調査は場を選定して、実測調査を行います。

収穫が行われる前に実施する調査（8月、9月、10月）は、穂数、もみ数など実測可能な項目を計測し、実測不可能な項目は気象データと過去の実測データを基に予測した上で、10アール当たり予想収量を決定します。

収穫期に実施する調査は、稻を刈取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後、選別を行い、その重さを計測し、10アール当たり収量を決定します。

調査ほ場選定

実測調査

審査・集計

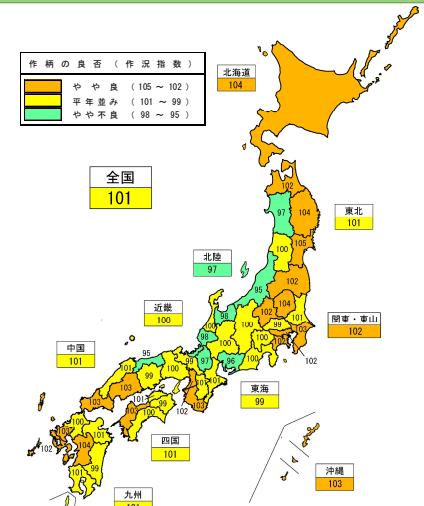
公表

④公表

$$\text{作況指標} = \frac{10\text{アール当たり(予想)収量}}{10\text{アール当たり平年収量}} \times 100$$

取りまとめた結果は8月、10月、11月、12月の年4回（一部地域は年5回）公表します。
公表に際しては記者ブリーフィングを行うなど丁寧な結果発表に努めています。

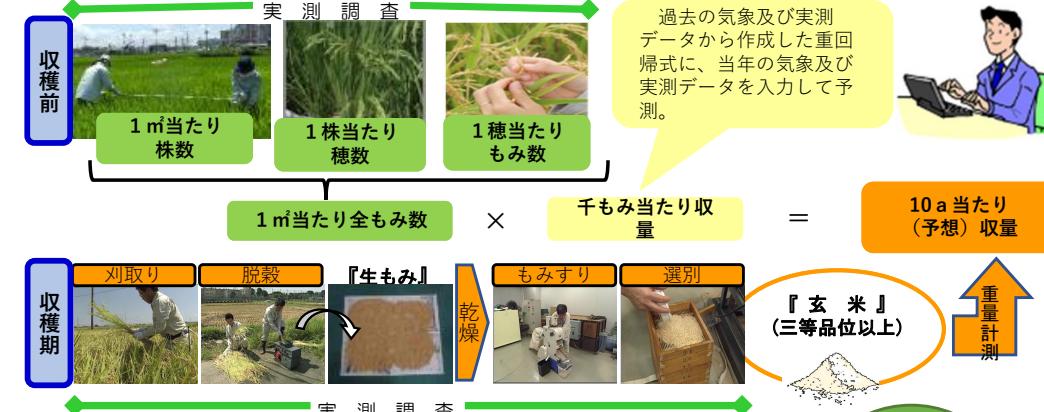
令和5年産水稻の作況指数（概数値） (「令和5年産水陸稻の収穫量」より)



○ 作況指数は、作柄の良否を表す指標で、その年の「10アール当たり平年収量」に対する「10アール当たり（予想）収量」の比率を表したもの。

○ 10アール当たりの平年収量は、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みと仮定した上で、実収量のすう勢を基に、最近の栽培技術の進歩の度合、作付品種の変動、温暖化の傾向等を考慮して作成した予想収量

【10a当たり（予想）収量の求め方



こんな所で使われています：：

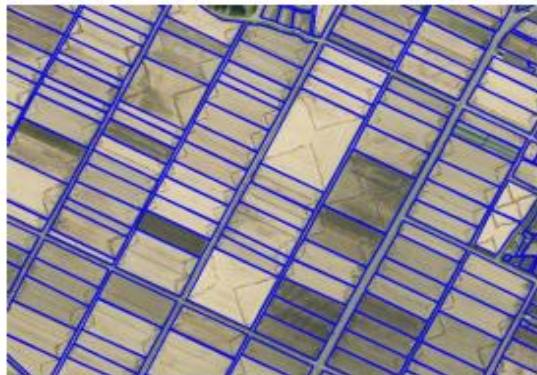
- ・国民の主食である米の需給及び価格の安定を図るための需給見通しの策定に用いられます。
 - ・生産者が作業計画や販売計画等を立てる上での参考情報として利用されます。

⑤利活用

人工衛星画像データやAIの活用

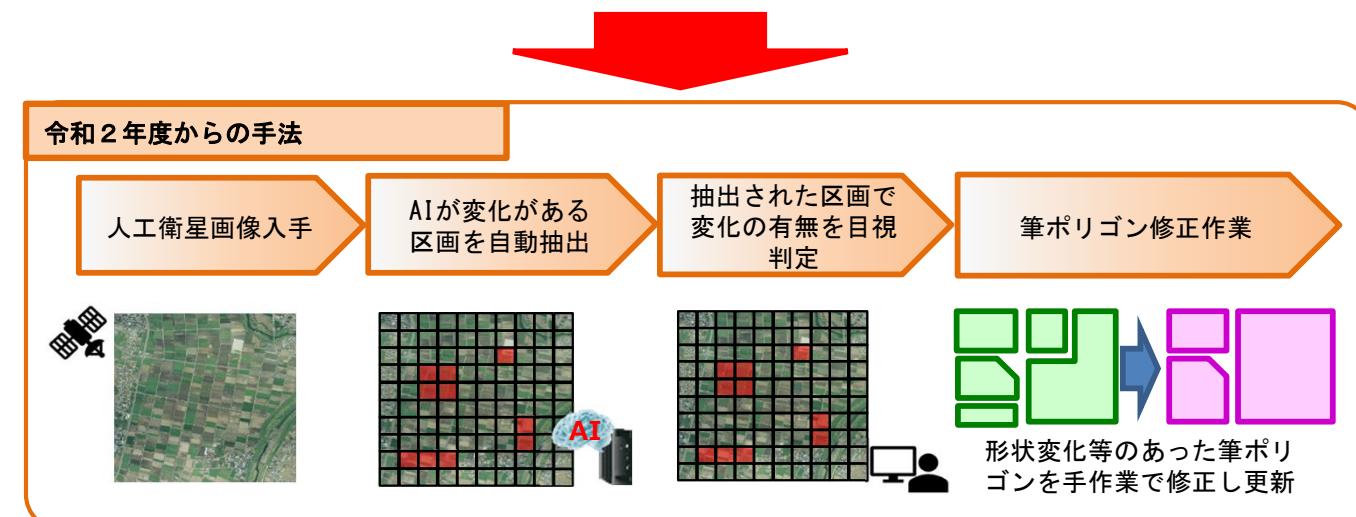
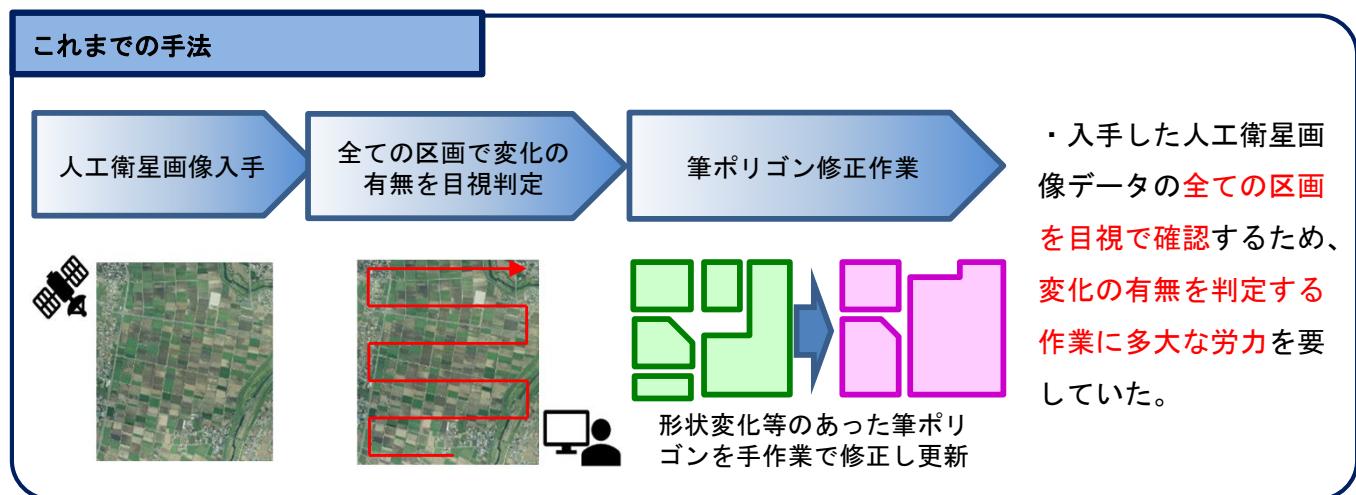
- 耕地面積調査の母集団の区画情報を、人工衛星画像を基に整備し、オープンデータとして提供しています（筆ポリゴン）。
- 区画の形状変化の確認にAIを活用しています。

区画情報（筆ポリゴン）のオープンデータによる提供や形状変化の最新化



青線：筆ポリゴン

農林水産省ホームページから
オープンデータとして提供



統計データの提供・利活用の推進

- 農林業センサスのデータなど、有益な情報をデータベース化して、ホームページを通じて提供しています。
【地域の農業を見て・知つて・活かすDB】

使ってみませんか

地域の農業を見て・知つて・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～

活かすDB 検索

活かすDBとは

データを見て

現状を知つて

地域に活かす

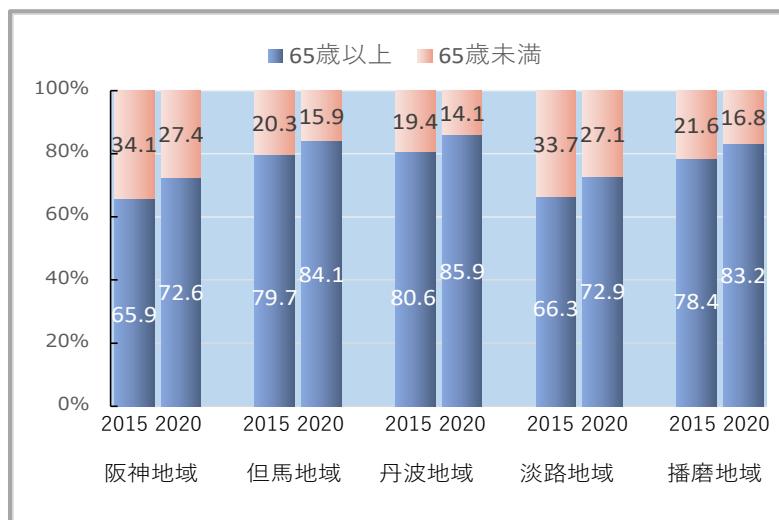
活かすDB

活かすDB is a comprehensive database centered around agricultural censuses, providing data for approximately 150,000 agricultural settlements across the country. It integrates various data sources such as agricultural censuses, administrative data, and land use surveys, and presents this information in graphical and map formats for users to analyze and utilize.

統計データの提供・利活用の推進

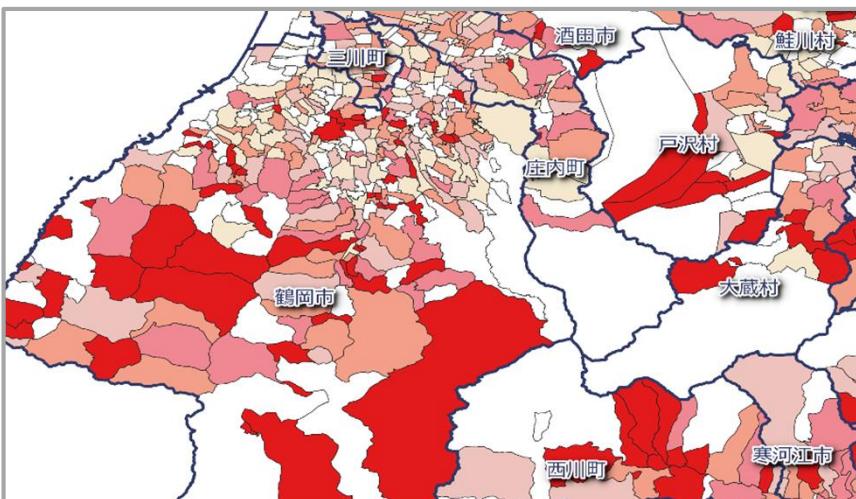
- 収録されている様々なデータや、保有しているデータを組み合わせることで、地域の状況について多方面からの分析が可能です。
 - 地図ソフト (QGIS)を使って、視覚的な確認や分析も可能です。

小地域別に作成した分析グラフ



※ 基幹的農業従事者数割合の農業地域別の推移

分析結果を農業集落別に色分けした地図



※ 65歳以上の基幹的農業従事者数割合

活かすDBの利用方法

- ・農林水産省ホームページに活かすDB専用ページ
【統計情報>地域の農業を見て・知って・活かすDB～農林業センサスを中心とした総合データベース～】から利用することができます
URL: https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html



本省統計部の分析業務の事例

- 本省統計部では、各課室の職員が参画する横断的な「統計データ分析支援チーム」を設け、政策担当部局とも協力しながら、統計データの分析を行い、政策立案を支援しています。

(事例①) 農泊実施による効果・満足度分析

農林業センサス、携帯端末の位置情報、SNSの投稿データ等の多様なデータを使って、農泊実施による農山漁村地域への効果や農泊の満足度及びその効果や満足度に影響する要因について分析を行いました。

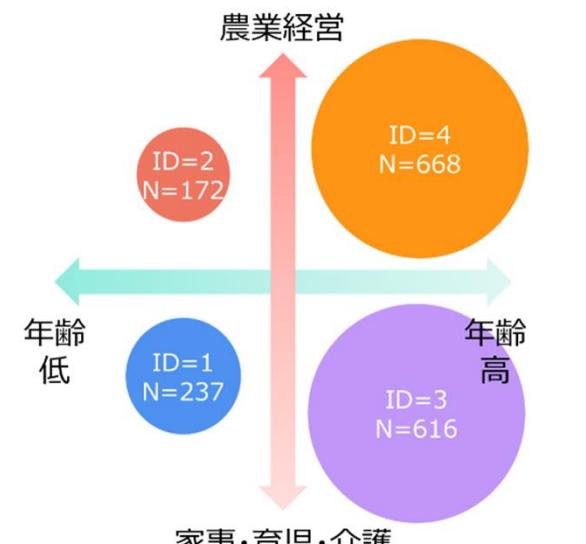
各トピックと関係性の高い単語の分類結果



農泊に関するSNSへの投稿をトピック分類

(事例②) 農業における女性活躍に関する特徴把握分析

女性活躍に関する意識・意向調査のデータを使って、女性農業者の農業経営等への関わり方別の特徴や女性が農業経営に参画している農業経営体の特徴を把握するための分析を行いました。



女性農業者の農業経営への関わり方を類型化

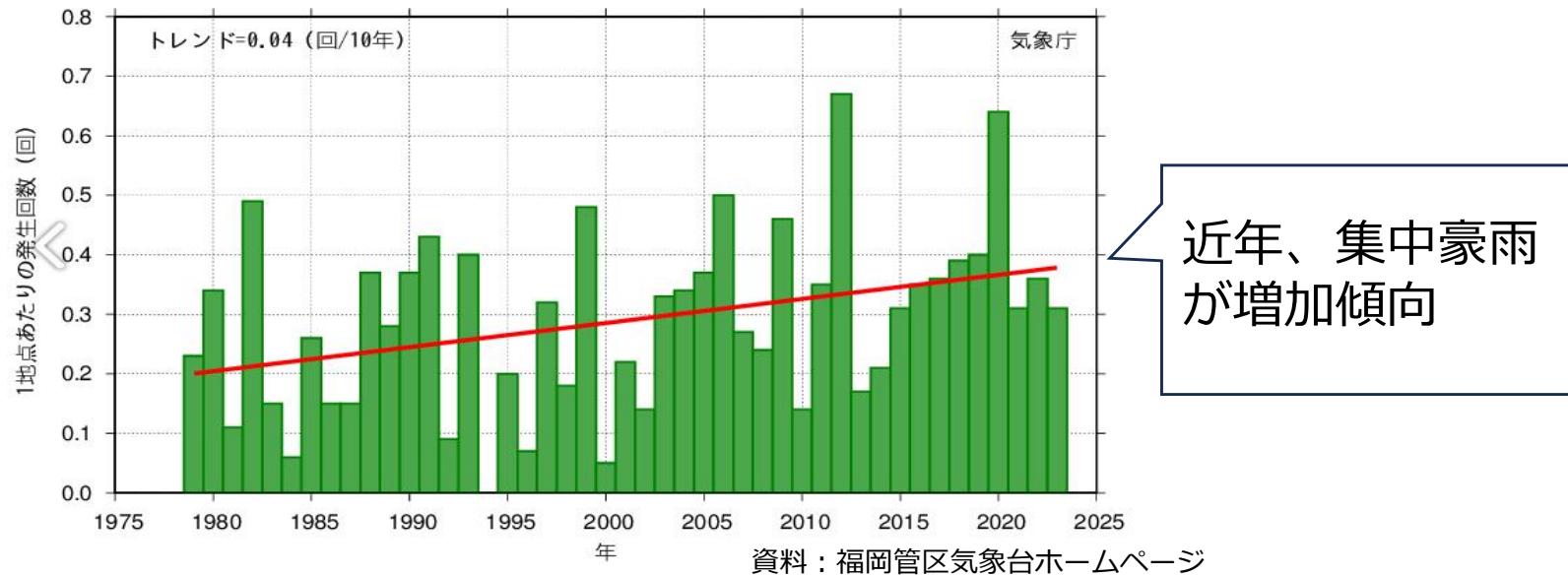
分析レポートの詳細は農林水産省のホームページに掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/bunseki/index.html>



九州農政局統計部の分析業務の事例

- 九州農政局でも独自に地域に特化した分析を行い、地域政策の推進に寄与しています。

九州北部における3時間100mm以上の短時間強雨発生回数

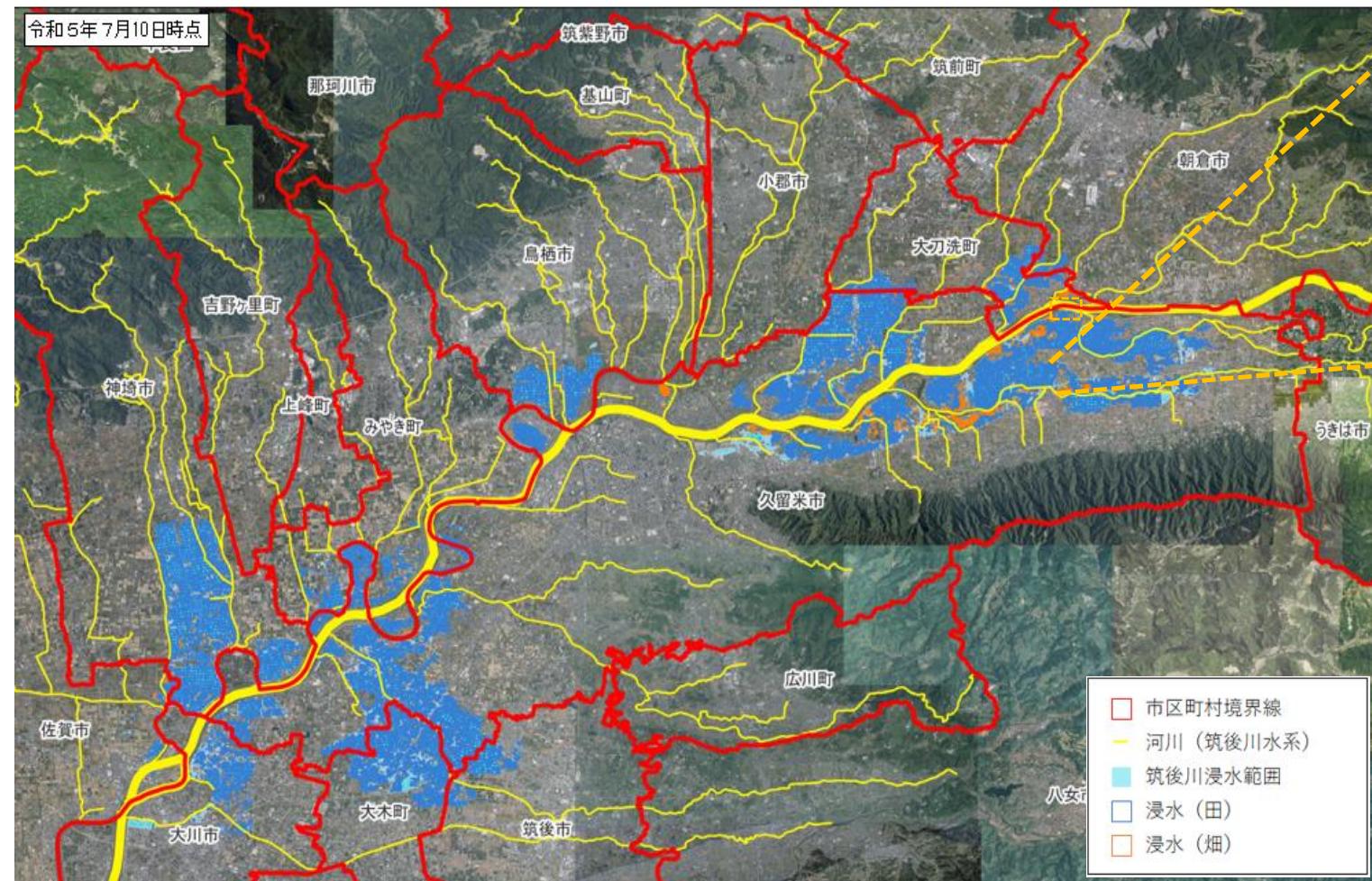


近年の自然災害による農林水産業の被害状況（全国）

	合計額		
		うち農作物等	うち農地・農業用施設等
令和4年台風14号	575億円	94億円	208億円
令和5年1月20日からの大雪等	38億円	34億円	—
令和5年6月29日からの大雨等	1021億円	80億円	692億円

九州農政局統計部の分析業務の事例

- QGIS (※) と農林水産省公表データ（見て・知つて・活かすDB、筆ポリゴン）、国土地理院の「浸水推定図」を用いて、「令和5年6月29日からの大雨」による筑後川流域の浸水した田・畠の求積を実施しました。



浸水推定図の当該市町村耕地面積及び浸水面積求積結果

県名	市町村名	R4耕地面積		浸水面積	
		田	畠	田	畠
福岡県	久留米市	7,220	1,150	2,498	89
	筑後市	1,580	359	101	1
	大川市	1,290	11	110	0
	小郡市	1,710	132	3	—
	朝倉市	3,480	1,400	34	0
	大刀洗町	1,110	96	208	10
	大木町	970	7	298	2
佐賀県	佐賀市	9,980	599	25	1
	鳥栖市	1,210	34	188	0
	神埼市	2,920	120	672	3
	みやき町	1,830	112	134	1
計		33,300	4,020	4,269	107

出典：国土地理院の「地理院タイトル」及び「浸水範囲の輪郭線」を加工して作成（縮尺：1/100,000）

QGIS：無償で利用できる「地理情報システム」のソフトウェアで、パソコンで空間情報を作成・保存・利用・管理・表示・検索等をおこなうことが可能

採用について

- 平成28年以降、統計の専門的知識を身に付けた職員を育成するために、独自に採用を行っています。

採用区分・試験区分について

【採用区分】

- ・国家公務員 一般職（大卒程度）

【試験区分】

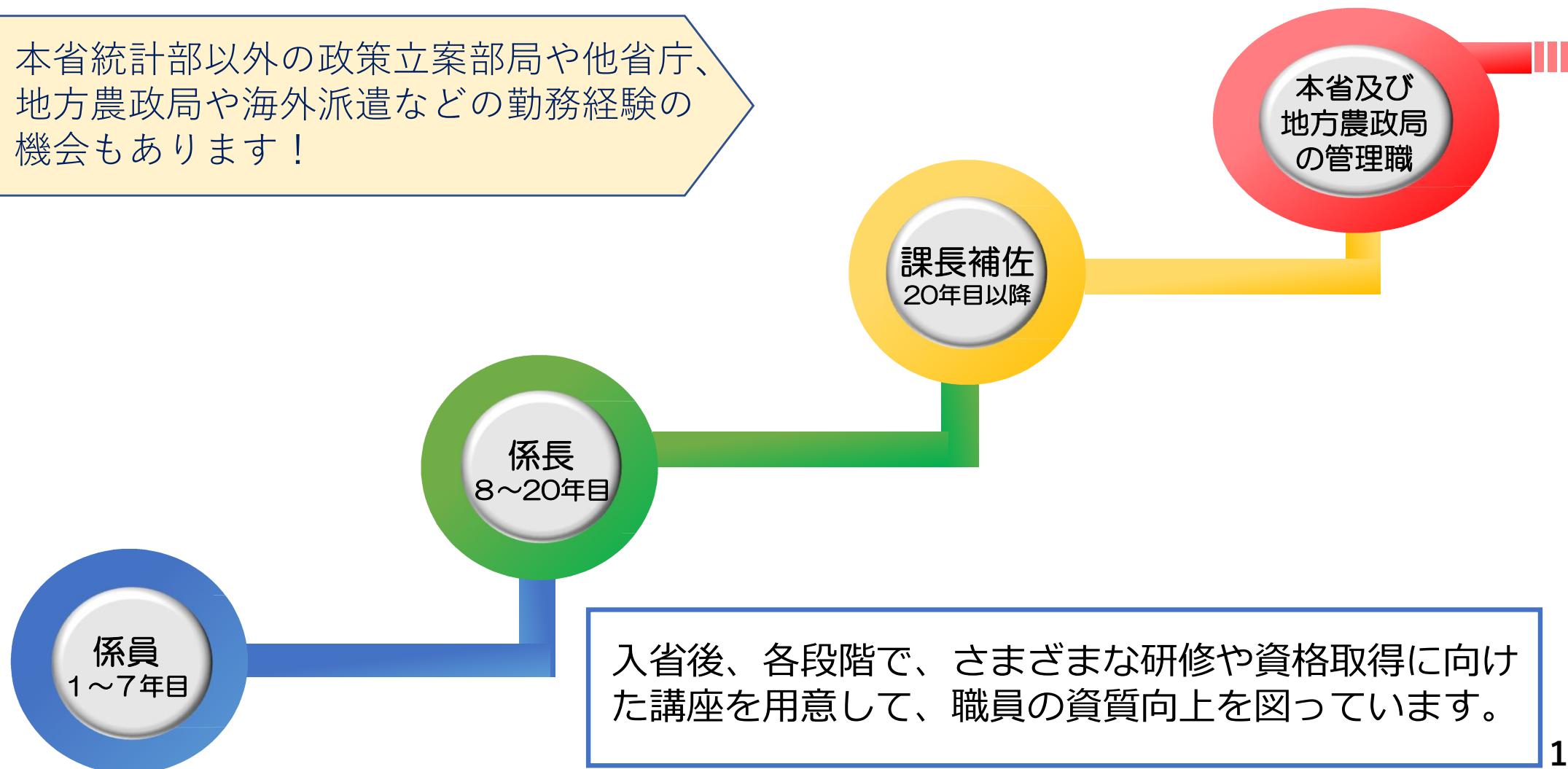
- ・行政区分
- ・技術系区分（農学、化学、デジタル・電気・電子）

文系・理系問わず、幅広い人材を募集しています。

キャリアパス

- 採用時、①本省統計部、②地方農政局統計部のいずれかをメインとしたキャリアパスを選択できます。
- ②の場合、採用時から2年間は本省勤務となります、入省3年目以降は地元または地元に近い農政局で勤務できます。

本省統計部以外の政策立案部局や他省庁、
地方農政局や海外派遣などの勤務経験の
機会もあります！



ワークライフバランス

- 超過勤務の縮減、計画的年次休暇の取得推進、フレックス制やテレワークの活用など、ワークライフバランスの実現に沿った職場づくりをしています。

○女性職員の採用状況

農林水産省統計部における女性職員の割合は、

30%を超えています！

また、H28～R6年の新規採用者を見ると、

50%となっています！

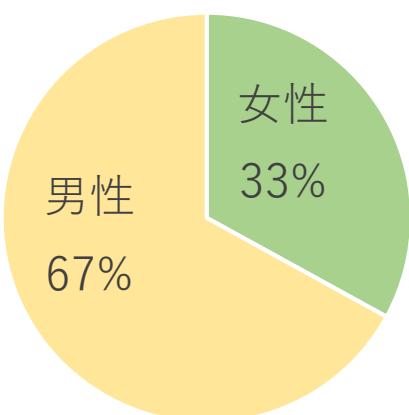
○職員一人当たりの超過勤務時間（1か月）

農林水産省統計部
(常勤職員)

9.9時間

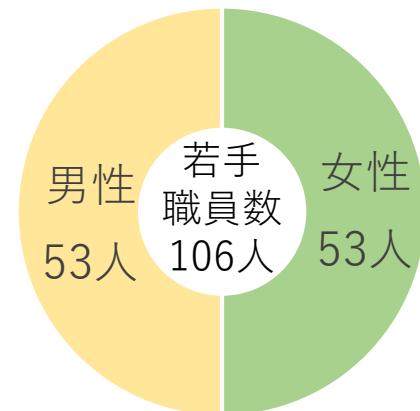
※令和5年度における職員一人当たりの平均超過勤務時間数

統計部男女別割合



令和6年3月1日現在の職員数

採用実績（H28～R6）の男女別割合



YouTuberとしての活動 (BUZZ MAFF)

- 農林水産省職員自らがYoutuberとなり、担当業務にとらわれず、スキルや個性を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクト
- 省内公募制で、地方農政局も含め、誰でも活動可能です。



日本の農林水産業を世界へ。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/index.html>

【設立】2020年1月7日

【チャンネル登録数】17.3万人 (R6.3時点)



パワーアップ！New宮崎のヒデちゃんとして、九州の魅力をPRします！

▶ [再生リスト](#) [外部リンク]



酪農や牛乳乳製品の魅力を身体を張ってリポートします。

▶ [再生リスト](#) [外部リンク]



くせが強い若手職員が、北海道の農林水産業や食の魅力をお届けします！

▶ [再生リスト](#) [外部リンク]



料理初心者の若手職員が食の魅力をお届けします。

▶ [再生リスト](#) [外部リンク]

デジタル化による多様な働き方

- 全職員に持ち出し可能な端末（セキュア端末）が配付され、全職員が新しいソフトウェア（Microsoft M365 E5（Teams等））を活用できるシステム環境となっています。

通信環境が大幅に改善！

- ・広帯域で高セキュリティの回線が配備。
- ・庁舎内LANは、高速なWifi（Wifi6）通信が可能に。



すべて持ち出し可能な端末に！

- ・全職員に、高機能、高セキュリティ機能を備え軽量端末（セキュア端末）が配布。
- ・庁舎外でも携帯電話の電波が届く場所であれば、業務が可能。



コロナを経て働き方が変革しています！！

Teams等の利用で働き方が変革！

- ・Teamsは、チャット、ウェブ会議、ファイル共有、ファイルの共同編集といった機能が集約された新しいコミュニケーションツール。
- ・ライセンスは全職員に配布され、誰でもウェブ会議を開催。
- ・Teamsのほか、データ分析ができるPowerBI、業務を自動化できるPowerAutomateなども全職員利用可能。



BYODで外出先でもコミュニケーションOK！

- ・私物スマートフォンに、Teamsなどのアプリケーションをインストールすることが可能。
- ・これにより、外出中でも、チーム会合に参加することができる。また、写真などの映像をTeamsに投稿することができるので、例えば、災害現場の状況などをリアルタイムに報告することができる。

（注）BYOD：私物端末の業務利用



お問合せ先

- 「統計部採用案内」サイトに、各種情報を掲載しています。

<https://careers.maff.go.jp/recruit/requirement/c08/>

⇒ 若手職員のインタビュー動画など、
統計部が簡単にわかる「キヤッチページ」もご覧下さい。

https://careers.maff.go.jp/recruit/articles/?id=1082_articles_c08_0001

- その他、統計部に関する疑問・質問などありましたら、
お気軽に担当者にご連絡ください。



採用HPはこちら

九州農政局統計部 採用担当
saiyou_stat_kyusyu@maff.go.jp
(吉村・中橋)



農林水産統計
データはこちら